

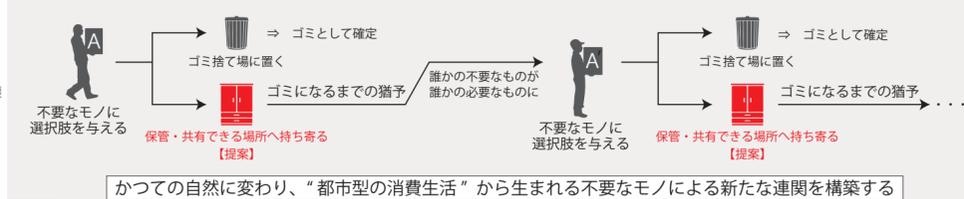
00 a 大規模団地開発によるかつてのコモンスの消失 SITE：神奈川県横浜市旭区若葉台



00 b 農村的ふるまいから都市的ふるまいへ



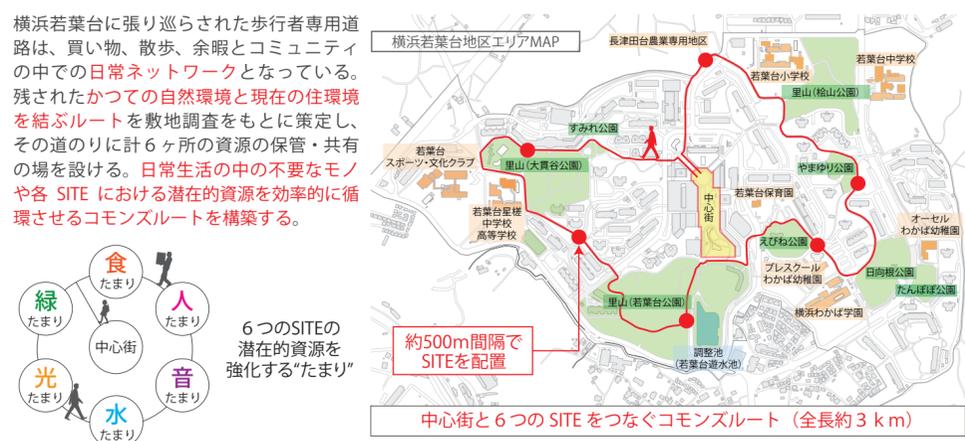
01 a 不要なモノから生まれる新たな連関 ~ゴミになるまでの猶予を与える~



01 b モノを介した時間に囚われない commons



02 日常に溶け込む歩行者ネットワークを活用した commons ルート



# Walking Through Closet

- モノがたまり価値が転換する日常の徒歩ネットワーク -

**緑** たまり

**光** たまり

**水** たまり

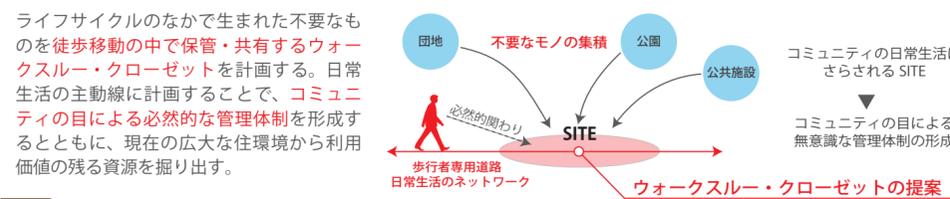
**食** たまり

**人** たまり

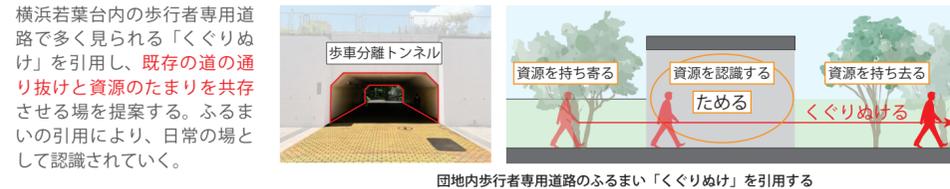
**音** たまり

開発された大規模団地の住環境と残された里山が混在する横浜若葉台。かつての里山を介した commons は消失し、資源サイクルが途絶えた消費主体の都市的生活の中で、人々は多くのゴミを排出するようになった。本提案では敷地内に計画的に張り巡らされた歩行者専用道路のネットワークを活用し、住民が不要となったモノを一時的に保管・共有できる場を点在させた commons ルートを提案する。団地コミュニティの日常動線の中で、最終誰かの不要が誰かの必要へと転換し、不要なモノから生まれる時間に囚われない commons が形成されていく。

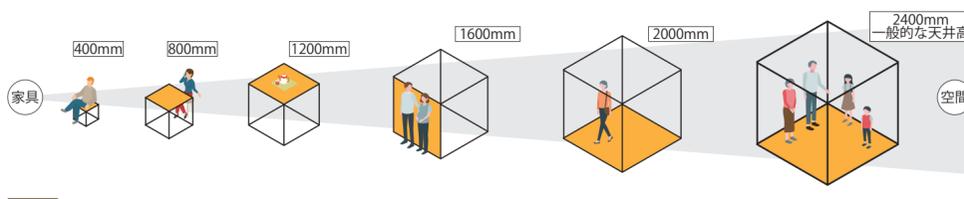
03 a 地域の資源を掘り出すウォークスルー・クローゼット



03 b 日常的ふるまい「くぐりぬけ」を引用し資源を集積・認識させる



04 a 「ふるまい」に多様性を与える FLAME とスケール



04 b FLAME にカスタマイズ性を与える TOOL ~放置される里山材を活用して~



05 大規模団地コミュニティにおける資源循環と commons 形成

